



# 成長する 成蹊大生の図鑑

— 2025年4月発行 —

イラスト、インタビュー、グラフにより  
学生の学修成果を可視化!



データで見る

# 成蹊大生の成長

学部や各種プログラムでの学修と学生生活でのさまざまな経験を経て、成蹊大生たちはどのような成長を遂げているのでしょうか。学修成果を可視化する統計データから、その実態を紐解きます。

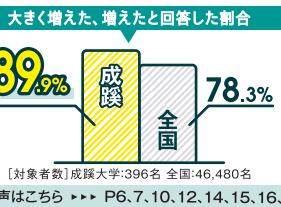


## 「成蹊大生の特に伸びている力」

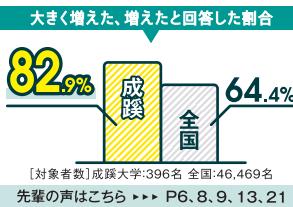
思考力、文章力、リーダーシップなど、社会で求められる力が成長

成蹊大学  
全国

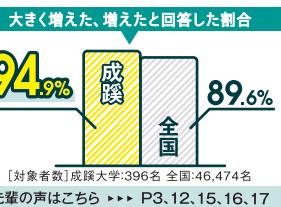
### 分析力や問題解決能力<sup>\*1</sup>



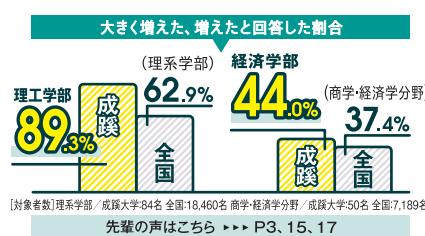
### 批判的に考える能力<sup>\*1</sup>



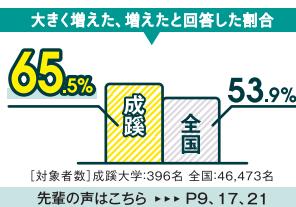
### 専門分野や学科の知識<sup>\*1</sup>



### 数理的な能力<sup>\*1</sup>



### 文章表現の能力<sup>\*1</sup>



### 思考力<sup>\*2</sup>



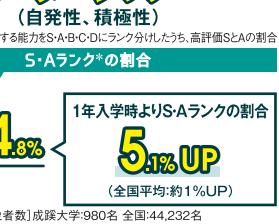
「GPS-Academic」とは思考力などを客観的に評価するアセスメントテストです。

S-Aランクを獲得できるのは、全国の約20万人の受検者で上位のみ!



※集計の結果、S-Aランク取得者は全国の受検者の約20%

### リーダーシップ<sup>\*2</sup>



\*1 大学IRコンソーシアム学生調査(能力・満足度等に関する自己評価アンケート) 2022年度上級生(3年生)調査回答データより作成  
\*2 ベネッセ i-キャリア「GPS-Academic」(客観的に思考力等を測定するテスト) 2020年度1年生、2022年度3年生受検データより作成

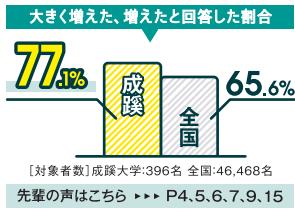
## INDEX

File01 経済学部 経済数理学科 …… 3	File06 文学部 英語英米文学科 …… 8	File11 理工学部(知的インターフェース研究室) …… 13	File16 副専攻の学び …… 18
File02 経済学部 現代経済学科 …… 4	File07 文学部 日本文学科 …… 9	File12 理工学部(材料力学研究室) …… 14	File17 MBT …… 19
File03 経営学部 総合経営学科 …… 5	File08 文学部 國際文化学科 …… 10	File13 理工学部(物質計測・イメージング研究室) …… 15	File18 教職課程 …… 20
File04 法学部 法律学科 …… 6	File09 文学部 現代社会学科 …… 11	File14 理工学部(生体分子化学研究室) …… 16	File19 海外留学の学び …… 21
File05 法学部 政治学科 …… 7	File10 理工学部(学習型知覚データ処理研究室) …… 12	File15 理工学部(2022年度入学者) …… 17	File20 外国人留学生 …… 22

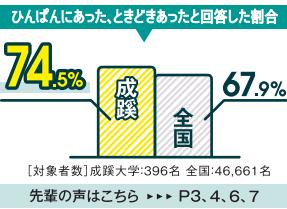
# 「ゼミ・研究室とワンキャンパスで伸びる対人能力」

多様な価値観や考えが交わる少人数の学びが、他者と関わる力を育む

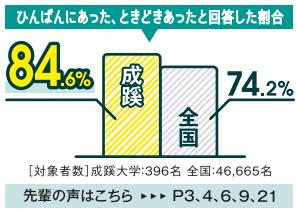
## プレゼンテーション能力<sup>※1</sup>



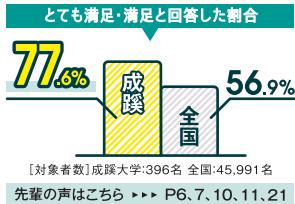
## 授業中に学生同士が議論をする経験<sup>※1</sup>



## 学生が自分の考えや研究を発表する経験<sup>※1</sup>



## ゼミ満足度<sup>※1</sup>



## 対人関係の経験値<sup>※2</sup>

(多様性を受容し、関係性を築く経験の主観評価)  
※テスト結果により該当する能力をS・A・B・C・Dにランク分けしたうち、高評価SとAの割合

異なる意見や価値観、行動様式の違いを受け入れ、他者との合意を形成しようとした経験値が高い学生(S・Aランク)の割合

3年生 59.2%  
(全国平均:54.0%)

〔対象者数〕成蹊大学:980名 全国:63,957名  
先輩の声はこちら ▶▶ P4.7.10.11.18.20.21

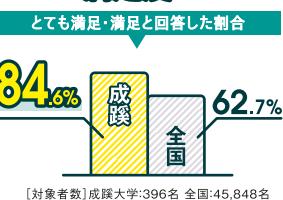


※1 大学IRコンソーシアム学生調査(能力・満足度等に関する自己評価アンケート) 2022年度上級生(3年生)調査回答データより作成  
※2 ベネッセi-キャリア「GPS-Academic」(客観的に思考力等を測定するテスト)2022年度3年生受検データより作成

# 「成長を支える充実した環境」

充実した図書館やキャリア支援が、一人ひとりの成長を支えている

## 図書館の満足度<sup>※1</sup>



## 図書館の蔵書数/貸出数<sup>※2</sup>



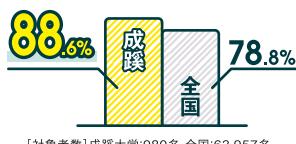
## アクティブラーニング導入率<sup>※2</sup>

正課科目のなかで、アクティブラーニングを導入している割合



## 進路への準備としての自己理解<sup>※3</sup>

「自分の性格や行動パターン、得意分野などを理解しているか」という質問に対する、「非常に当てはまる・やや当てはまる」と回答した割合



充実した支援が自己理解を後押し

## キャリア関連個別相談回数<sup>※4</sup>

年間 **11,075回**

(2022年度よりキャリアカウンセラーを強力に増員し、支援体制を強化)

## 就職・キャリア支援関連イベント参加者数<sup>※4</sup>

**17,148名**

(年間300回(300名)を超える就職・キャリア支援プログラム)

※1 大学IRコンソーシアム学生調査(能力・満足度等に関する自己評価アンケート) 2022年度上級生(3年生)調査回答データより作成  
※2 成蹊大学調べ(2023年度)  
※3 ベネッセi-キャリア「GPS-Academic」(客観的に思考力等を測定するテスト)2022年度3年生受検データより作成  
※4 成蹊大学調べ(2022年度)

# 経済現象への理解と 高度な分析スキルを磨く学びが ITコンサルタントへの道を開いた



## 身についた力

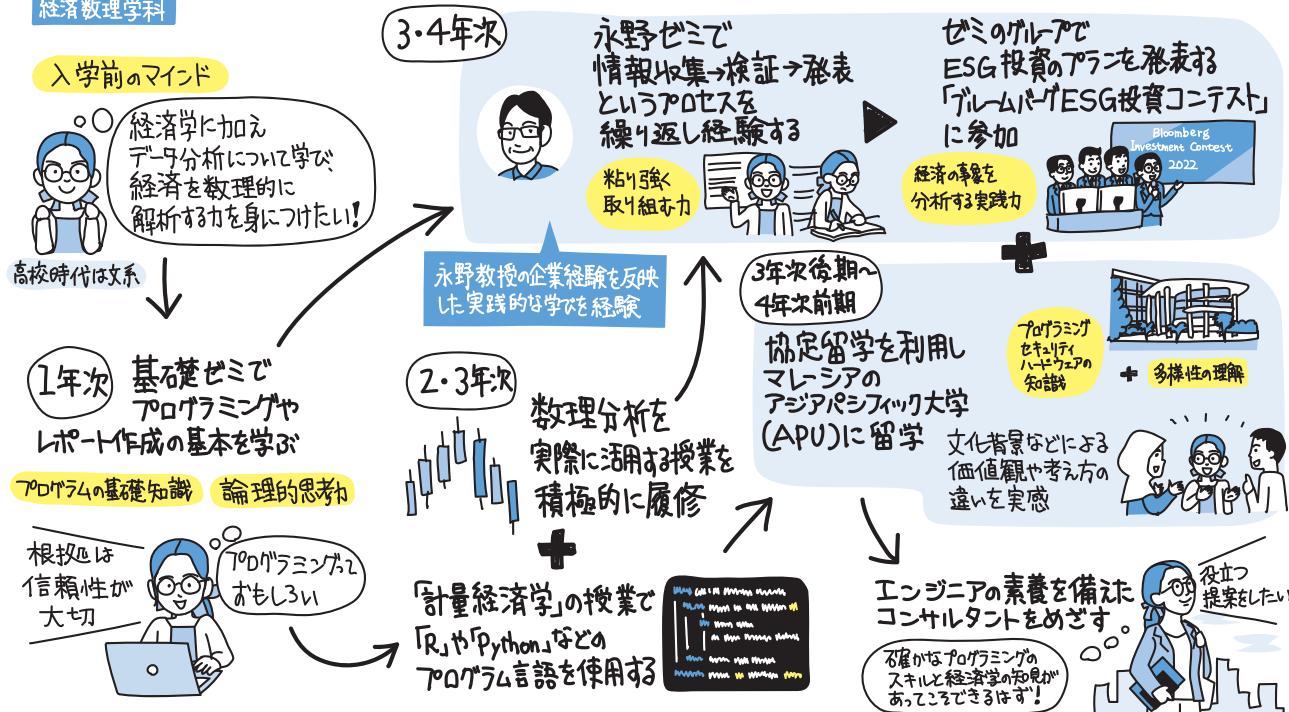
- 論理的思考力
- 粘り強く取り組む力
- 経済の事象を分析する実践力

## 成長を促した経験

- プログラムを使用した実践的な分析
- ゼミでの情報収集・検証・発表の繰り返し
- 留学先での高度なITに関する学修



## 経済を数理的に分析する高度な実践力が身についた



## INTERVIEW

経済数理学科を選んだのは、経済の事象を数理的に解析する力を養いたいと思ったから。ゼミで師事している永野護先生には1年次から授業でお世話になっているのですが、**最新の根拠を元に説明する大ささなど、大学での基礎を徹底して教え込まれ、論理的思考力が磨かれました**。「金融」を専門とする永野ゼミでは、情報収集・検証・発表を繰り返し経験し、粘り強く取り組む力や問題解決能力が伸びました。永野ゼミでは毎年、環境・社会・企業(ガバナンス)の三者(ESG)にとって有益な投資プランを考える投資コンテストに参加しています。プログラミングの知識を活用して分析するなど、実践力の成長を実感する機会になりました。また、3年次後期から4年次前期にかけてマレーシアの大学に留学し、ハードウェアとセキュリティに関する学修に取り組みました。専門知識を学ぶことに加えて、さまざまな地域の学生との交流により視野を広げられたことも貴重な経験でした。卒業後は、ITソリューションに強い外資系のコンサルティング会社に勤めることが決まっています。エンジニアレベルの高度な専門知識があり、深い理解に基づいた適切な支援ができるコンサルタントをめざしています。

インタビュー全文は[こちら](#)

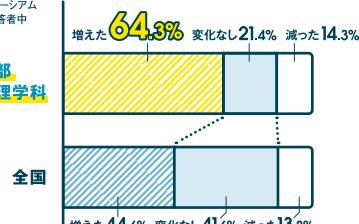


## DATA RESEARCH

### 能力が増えたと感じている学生の比率が全国平均よりも19.7%高い

#### 「数理的な能力」の変化

大学IRコンソーシアム  
学生調査回答者中



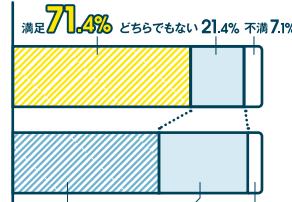
### 満足と回答した学生の比率が全国平均よりも12.7%高い

#### 「3年次生を対象としたゼミ(演習)などの教育内容」への満足度

大学IRコンソーシアム  
学生調査回答者中

経済学部  
絏済数理学科

全国



# 根拠を突き詰める学びにより 論理的思考力と わかりやすく伝える力が磨かれた



## 身についた力

- わかりやすく伝える力
- 論理的思考力
- 適切な根拠にこだわる姿勢

## 成長を促した経験

- レポート作成
- 授業でのプレゼンテーション
- 根拠の正確さを求められるゼミでの学び



徹底して根拠を明確化する学びが論理的に伝える力を育んだ

## 1・2年次

## 授業でのレポート作成を多く経験

入学当初



## 2年次「プレゼンテーション演習」

個人とグループでの  
プレゼンテーションを経験

## 3・4年次

挿本佳代教授のゼミで  
「SNS」と「幸せ」の関係を  
研究

演習では、常に 適切な根拠にこだわる姿勢  
根拠の明確さを求められる

このデータが示す通り… 〇〇といふ理由は何ですか？

「SNSの拡大可能性と身体影響」  
をテーマに卒業論文に取り組む

必要なデータを  
徹底的にリサーチする  
アドバイス  
友人とSNSで  
情報収集をする

就職活動で  
自分の考えを論理的に  
伝えることができた

このケースで  
考えらるる SNSの影響は…  
話の組み立てが  
的確ですか？

SNSに強い広告会社から  
内定が出る

得意分野を築き  
頼られる人に  
なりたい

社会でも  
根拠を明確にお  
ける姿勢を大事にする！

## INTERVIEW

現代経済学科では、1・2年次からレポート作成やプレゼンテーションなどを行う授業が多く、論理的思考力やわかりやすく伝える力が磨かれたと感じています。3年次からは、論理性を徹底して追求する方針がある挿本佳代先生のゼミに入りました。所属学生も皆、論理性への意識が高く、理論に少しでも曖昧な点があると、容赦なく指摘されてしまう一方で、考え方の多様性を受け入れ、お互いを尊重する雰囲気があります。卒業論文は「SNSの拡大可能性と身体影響」というテーマにしました。国ごとのSNSの普及率と、世界幸福度ランキングの因果関係を検証するなど、SNSが人に与える影響を多面的に追究。出典元の信頼性はもちろん、偏ったデータを用いていないかなど、客観性に留意してリサーチしています。また、現代経済学科で培った論理的思考力やわかりやすく伝える力は、就職活動でも活かせました。企業の方から受け答えなどで高い評価をいただけたのも、根拠を大切にして自分の考えをまとめる経験や、伝わるように工夫して発表する経験を数多くできたからこそだと思います。根拠を元に考えを論理的に組み立てわかりやすく伝える姿勢は、社会でも大切にしていくつもりです。

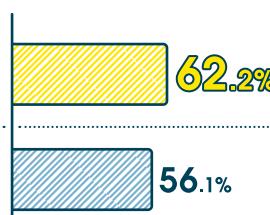
インタビュー  
全文はこちら



## DATA RESEARCH

62.2%の学生が  
「相互理解を深める経験があった」と回答「議論(話し合い)の場では対立する意見をよく聞き、  
両者の合意点を見出した」の経験率「GPS-Academic」  
受験者中経済学部  
現代経済学科

全国



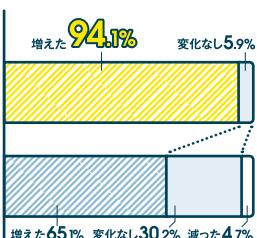
※ペネセキキャリア調査  
2022年度「GPS-Academic」(アクセスメントテスト)  
3年生受験データより作成  
※対象者数 成蹊大学80名 全国3,957名

能力が増えたと感じている学生の比率が  
全国平均よりも29.0%高い

## 「プレゼンテーションの能力」の変化

大学IRコンソーシアム  
学生調査回答者中経済学部  
現代経済学科

全国



※大学IRコンソーシアム学生調査(アンケート)  
2022年度 3年生回答データより作成  
※対象者数 成蹊大学34名 全国28,491名  
※「増えた」「増えた」「大きくなれた」と回答した割合、「減った」「減った」「大きくなかった」と回答した割合です。

**多様な分野を横断する実践的な学びが  
プレゼンテーション能力や  
情報を精査し検証する力を育んだ**



経営学部 総合経営学科 4年生(2023年度取材時)  
私立日本大学第二高等学校出身

- 身についた力

- 論理的思考力
  - 精査・検証力
  - 幅広い視野
  - プレゼンテーション能力

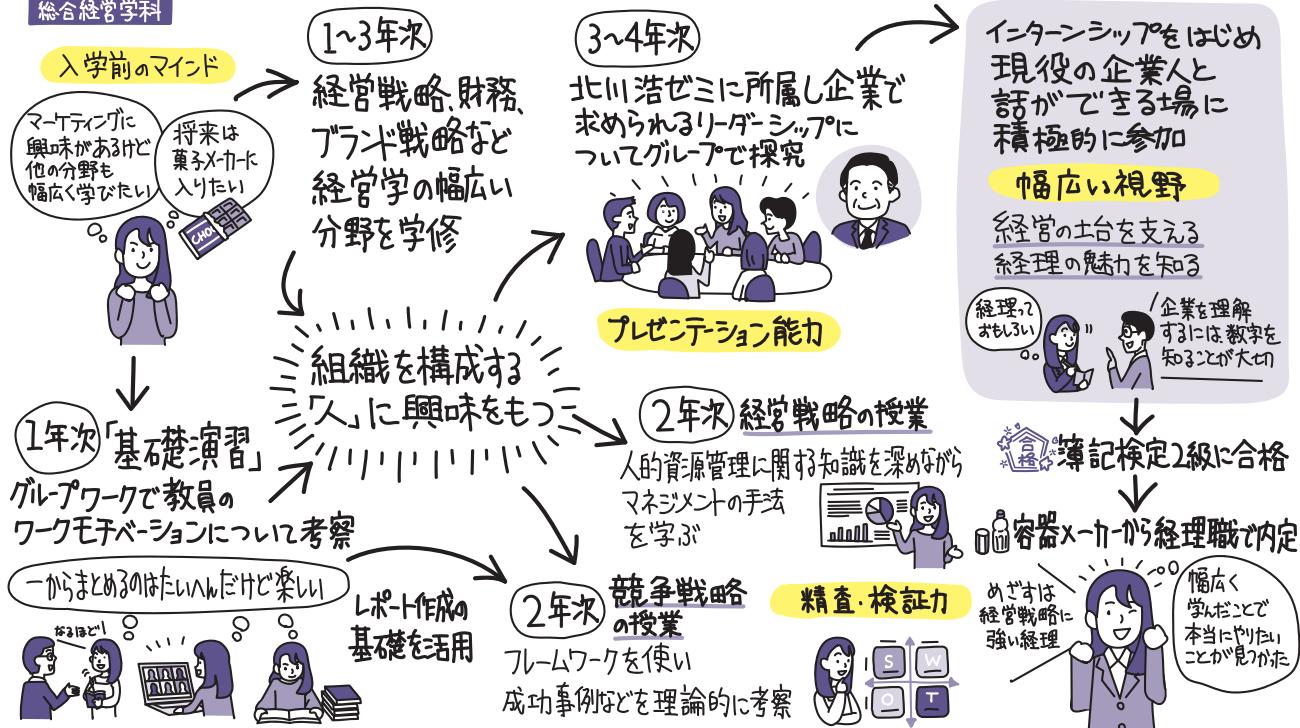
- ## 成長を 促した経験

- ゼミでのグループワーク
  - 経営に関する幅広い講義の履修
  - 現役の企業人との積極的な交流



経営学部  
総合経営学科

積極的な学びが、検証し発信する力と目標の発見につながった



## INTERVIEW

多くの人に受け入れられるチョコレートのような商品を生み出したいと考え、マーケティングに加えて経営戦略や財務などの分野を複合的に学べる総合経営学科に入学。幅広い学びを通じて、「効率的な販売促進には、まず強固な会社組織が必要」と気づき、「人材育成研究」を専門とする北川浩先生のゼミに入りました。ゼミでは、結論から先に述べる理論の組み立て方、フレームワークを用いた理論的な情報の解析などをさらに深く学び、プレゼンテーション能力や情報力を正しく精查・検証する力に自信がつきました。また、ある建設会社の経理の方とお話ししたのをきっかけに、もともと興味をもっていた経営戦略や競争戦略と経理との密接なつながりを知り、本気で経理の仕事に就きたいと考えました。それから猛勉強し、3年次の秋に簿記検定2級に合格。卒業後は、さまざまな容器を扱うメーカーで経理として勤務することが決まっています。経営戦略やマーケティングなどについて幅広く学んだ経験は、はじめから会計が専門だった人にはない強みであると自負しています。そして、プレゼンテーションスキルや論理的思考力も、経理の立場からの提案をする際に大いに役立つと考えています。

[インタビュー](#)  
全文は[こちら](#)



#### ► DATA RESEARCH

**機会があったと回答した学生の割合が、  
全国平均よりも12.3%高い**

「仕事に役立つ知識やスキルを学ぶ」経験

### 経営学部 総合経営学科

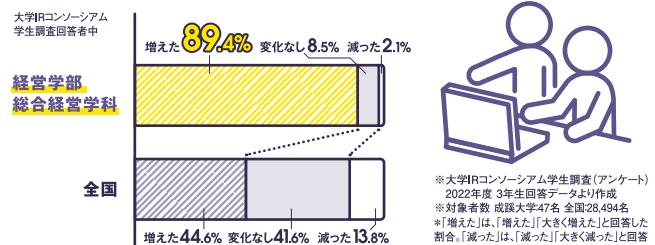


\*大学IRコンソーシアム学生調査(アンケート)  
2022年度 3年生回答データより作成  
※対象者数 成蹊大学47名 全国:28,613名  
\*「あった」は、「ときどきあった」「ひんぱんにあった」と回答した割合。「なかつた」は「まったくなかつた」「ときどきなかつた」「まれになかつた」と回答した割合。

**能力が増えたと感じている学生の比率が  
全国平均よりも44.8%高い**

#### 「他の人と協力して物事を遂行する能力」の変化

大学IRコンソーシアム  
学生調査回答者中



※大学IRコンソーシアム学生調査（アンケート）  
2022年度 3年生回答データより作成  
※対象者数 成蹊大学47名 全国28,494名  
＊「増えた」は「増えた」「大きくなりえた」と回答した割合。「減った」は、「減った」「大きくなかった」と回答した割合。

# 相手を受容しながら 意見をわかりやすく伝える力が 多様なアウトプット経験によって磨かれた



## 身についた力

- 行動力 ●プレゼンテーション能力
- コミュニケーション能力 ●問題解決能力

## 成長を促した経験

- さまざまな授業での豊富なアウトプット機会
- ゼミでの発表やディスカッション



## 入学前のマイノード



## 1年次

いじれいな授業で  
プレゼンを経験する労働法や刑法の  
おもしろさを知る

## 1年次後期～4年次

憲法が専門の藤井樹也教授のゼミで、  
事例研究を通じ、さまざまなアウトプットを経験インターンシップで  
積極的に発言し  
企業から高い評価を  
受けたインテリアを扱う  
小売業の会社から内定

## INTERVIEW

成蹊大学を選んだ一番のポイントは、1年次からゼミがあること。自分の意見を述べ仲間の意見を聞く機会をたくさんもつことで、法律の知識が着実に身につき、人間的にも成長できると感じました。法律学科では、1年次後期から自分の興味のあるゼミを選択できるようになり、私はずっと藤井樹也先生に師事しています。藤井先生のゼミの特徴は、英語の文献を訳しながら事例の検討を進めること。毎回の授業は、ゼミ生による持ち回りでの発表と、事前に予習してきたテーマについてのディスカッションの二部構成が基本です。自ら調べ発表することで、主体的に行動する力やプレゼンテーション能力が高められただけでなく、ディスカッションを通じて、自分の意見を主張しつつ相手の意見をしっかり聞き、自分の意見との差異を理解したうえで見解を述べるといったコミュニケーションができるようになりました。「多様なものの見方がある」という前提を意識することで、事例の何が問題になっているかを客観的に検討する力が磨かれたと感じています。学修を通じて培った、積極性や行動力、コミュニケーション能力を活かし、社会ではお客様の困りごとに寄り添っていかなければと考えています。

インタビュー  
全文はこちら



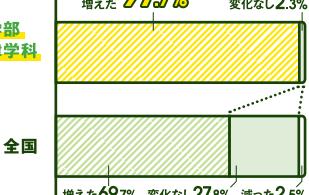
## DATA RESEARCH

能力が増えたと感じている学生の比率が  
全国平均よりも28.0%高い

## 「批判的に考える能力」の変化

大学IRコンソーシアム  
学生調査回答者中

法学部  
法律学科



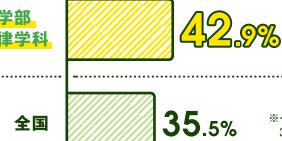
※大学IRコンソーシアム学生調査(アンケート)  
2023年度 3年生回答データより作成  
※対象者数 成蹊大学44名 全国:26,807名  
※「増えた」は、「増えた」「大きくなった」と回答した割合、「減った」は、「減った」「小さくなった」と回答した割合です。

42.9%の学生が  
状況に応じた対応力を持つ「状況に応じ冷静に対応する姿勢・態度」の  
S・Aランクの比率

\*アセスメントテストの結果により、該当する能力をS・B・C・Dにランク分けし、上位の優秀な学生(S-A)の比率\*

GPS-Academic  
受検者中

法学部  
法律学科



# 発表し対話する密度の濃い学びが、積極性を磨き、視野を広げる原動力になった



## 身についた力

- プレゼンテーション能力
- 積極性
- バランス感覚
- 協働力
- リーダーシップ

## 成長を促した経験

- 1年次からのゼミでの豊富なアウトプット
- グループワークでの班長経験
- 積極的な挑戦

法学部  
政治学科

## 入学前のマイド

さまざまな分野の授業を受け広い視野を身につけたい!

国内外の政治に加え、経済のことも学びたい

1年次からゼミを経験し、苦手だった「人前で話すこと」に徐々に自信をもてるようになる



## 2・3年次

## 西村美香教授のゼミで、多様な社会課題の解決にITの活用を検討



バランス感覚

協働力

リーダーシップ

## ITの可能性への興味

## 3年次

## 聴覚障害のある学生へのITを使ったボランティアに参加



ITを活用した社会課題の解決に取り組む会社から内定



## INTERVIEW

政治学科を選んだのは、「バランス感覚を身につけたい」という思いから。私たちの生活のあらゆる領域に関わる政治学を学べば、社会での立場によって異なる多様な視点を知ることができるのではないかと考えました。入学すると、ディスカッションやプレゼンテーションをする機会がたくさんありました。その過程で私が意識したのは、相手と意見が対立したときに、意見をじっくり聞くこと。よく聞く意識をもって臨むうちに、論点を頭の中で整理できるようになり、自分の意見を伝えるときのプレゼンテーション能力向上にもつながったと感じています。2・3年次に所属した西村美香先生のゼミではグループワークの班長に立候補しました。意見をまとめていくのは想像以上に大変でしたが、個々の役割の明確化や全員で目標を合わせることを意識した結果、徐々によいチームになった実感があります。大学では、1年次のゼミで積極性を磨き、海外留学、ゼミでの班長への立候補、ボランティアなど、さまざまな挑戦をしました。幅広い学びで培った問題を多面的に見る姿勢と積極性を活かし、社会の中で問題に直面している人の助けになる仕事を実現したいと考えています。

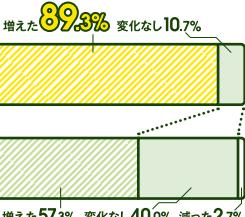
インタビュー全文はこちら



## DATA RESEARCH

能力が増えたと感じている学生の比率が全国平均よりも32.0%高い

## 「国民が直面する問題を理解する能力」の変化

法学部  
政治学科

\*大学IRコンソーシアム学生調査(アンケート)  
2023年度 3年生回答データより作成  
※対象者数 成蹊大学:28名 全国:26,796名  
※「増えた」は、「増えた」「大きくなれた」と回答した割合。「減った」は、「減った」「大きくなかった」と回答した割合。

他者と協力する姿勢を備えた学生の比率が全国平均よりも18.4%高い

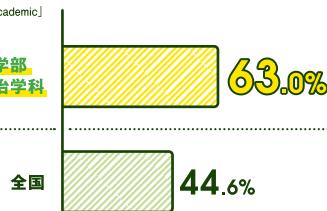
## 「協働的思考力」のS・Aランクの比率

\*アセメントテストの結果により、該当する能力をS-A-B-C-Dにランク分けし、上位の優秀な学生(S-A)の比率

※集計の結果、S-Aは全受検者の約20%

「GPS-Academic」

受検者中



\*ヘネッセキャリア調査2023年度  
「GPS-Academic」(アセメントテスト)  
3年生登録データより作成  
※対象者数 成蹊大学:92名 全国:67,526名

# 社会背景や文学的理論から 考察する学びが 論理性の修得につながった



## 身についた力

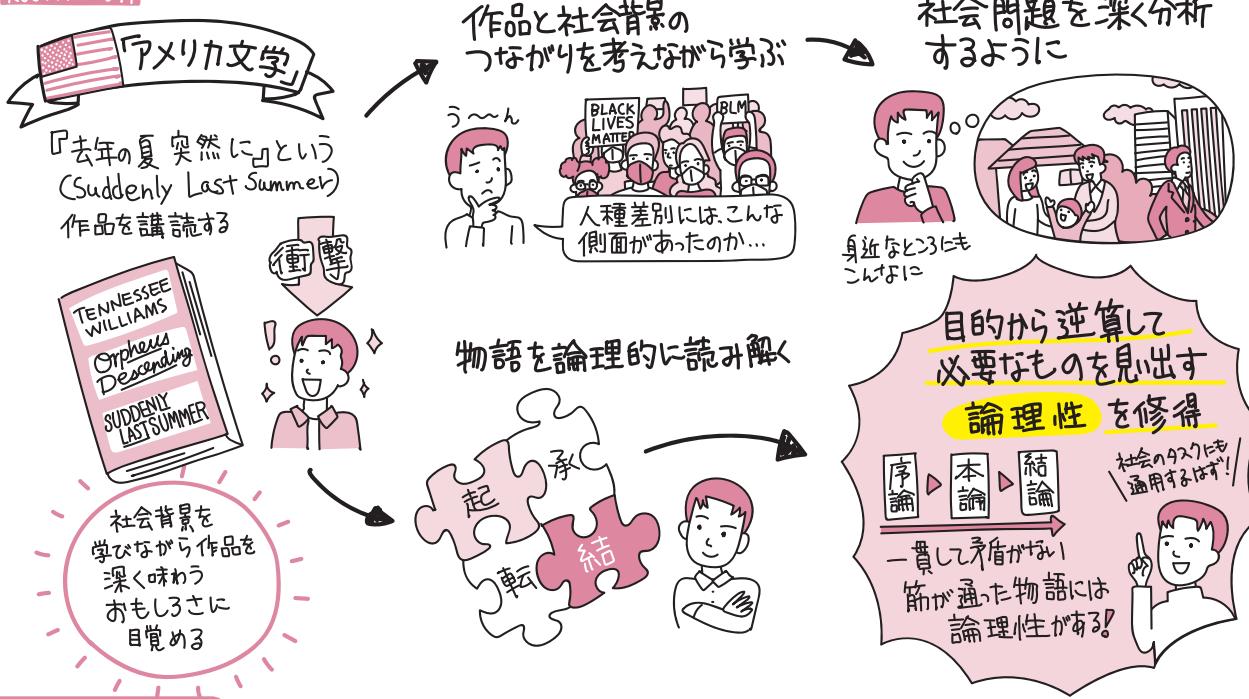
- 筋道立てて主張を展開する力
- 社会問題への探求心
- 論理的に読み解する力

成長を  
促した経験

- 根拠を重視するレポート
- 名作との出会い
- 社会背景の考察につながる文学研究



## 文学研究は社会問題への探求心と論理性の修得につながる!



## INTERVIEW

入学して良かったと思うことの一つに『去年の夏 突然に』という作品との出会いがあります。授業の中でそのストーリーを学術的な視点から考察することが楽しく、文学研究の魅力に目覚め、社会問題への関心が高まる契機になりました。『去年の夏 突然に』の舞台は20世紀初頭のアメリカで、当時はまだ白人優位の思想が色濃い社会。物語のラストでは貧しい黒人の子どもが白人の大人を食べてしまうという衝撃的な展開があるので、社会的地位の逆転という視点での考察が興味深かったです。また緻密にロジックが練られた良作の研究を通じて、作品を論理的に捉える力が、鍛えられました。根拠の明確さを重視する中で、自分の主張を筋道立てて展開する力も磨かれたと感じます。特に意識したのは、意見と結論がきちんと一致していること。結論へ至るまでに、破綻や矛盾がないように根拠を積み上げ一貫した主張にまとめるスキルは、社会でも活かせると考えています。卒業後は鉄鋼専門商社に就職します。「鉄鋼」という業界に興味を持ったのは、社会の基盤となる商材を扱う仕事がしたいと考えたからです。そうした発想に至ったのは、問題の根源に迫る学びの影響が大きいと感じています。

インタビュー  
全文は[こちら](#)



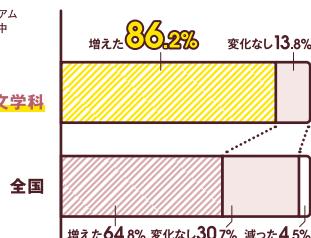
## ► DATA RESEARCH

能力が増えたと感じている学生の比率が  
全国平均よりも21.4%高い

## 「批判的に考える能力」の変化

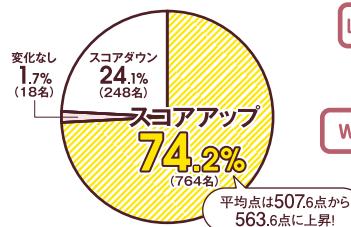
大学IPコンソーシアム  
学生調査回答者中

文学部  
英語英米文学科



74.2%の学生がスコアアップ

## 「TOEICスコア」の変化の比率





# 好奇心に身を任せ 妥協なく探究する学びが 成長につながった



## 身についた力

- 傾聴力
- チームワーク
- 計画力
- 考察力

## 成長を促した経験

- 個人とグループでの研究を同時進行
- ゼミのメンバーとの議論や協働

多様な刺激のある環境で考察力が磨かれた

文学部  
国際文化学科

## 1年次

英語英米文学科の授業で、イギリスの紅茶文化について調べる



## 1年次

川村陶子教授の「国際文化論」を受講する



## 3年次

川村陶子教授のゼミで学ぶ  
卒論で、コーヒーの歴史的・文化的側面を追究

日本ではほとんじん栽培していないコーヒーなぜこんなに生活に根ざしているんだろう?

## 考察力



マジックや和食のようにコーヒーにもソフトパワーがある

「国際関係科目」「文化人類学科目」「歴史・文化研究科目」をバランスよく学び、さまざまな視点で、世界の地域について学ぶ

視点が変わると見える世界も変わる

個人とグループ両方の研究に取り組み最後までやり遂げる

<個人での研究>自分と異なる意見こそ参考になる



## 傾聴力

<グループでの研究>みんなの長所を引き出そう



## チームワーク

## 計画力



オフィス家具メーカーから内定

ビジネスパーソンが、ワクワクしながら働けるオフィスを提案したい!



多面的に考慮した経験が活きます!

## INTERVIEW

1年次に受講した「国際文化論」に強く興味を引かれ、3年次から川村陶子先生のゼミに所属しています。個人での発表とグループでの発表の両方があるので、忙しさはありました。しかし、締め切りから逆算しタスクを整理して進めたことで計画力が向上。ディスカッションの機会が多くあり、相手の視点に立って考えたり、意見の背景に注目したりすることで傾聴する力も身につきました。また国際文化学科には、分野の異なる3つの科目群があり、それらを通じてさまざまな角度で、世界各地の社会や文化を学び、ゼミのディスカッションでは多様な意見に触れられました。そうした多様な学びのある環境で、考察する力が磨かれたと思います。グループワークでは、渋谷における人の移動について考察。メンバーで一つのものをまとめるのは、想像以上に難しかったのですが、打ち合わせを設定したり、目標と課題を途中で皆に共有したりといった働きかけを意識しました。その結果、メンバーとコミュニケーションをしっかりと取りながら協力関係を築くことができ、チームで取り組む力が身についたと実感。卒業後は、オフィス家具メーカーで、4年間で培った考察力をお客様への提案に活かしたいと考えています。

インタビュー  
全文はこちちら



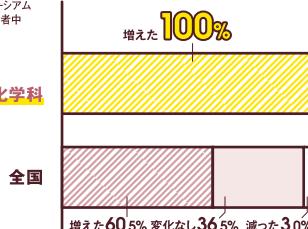
## DATA RESEARCH

能力が増えたと感じている学生の比率が  
全国平均よりも39.5%高い

## 「異文化の人々に関する知識」の変化

大学IRコンソーシアム  
学生調査回答者中

文学部  
国際文化学科



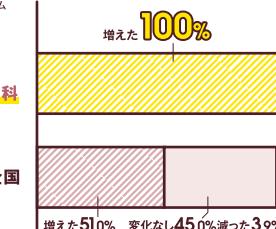
\*大学IRコンソーシアム学生調査(アンケート)  
2023年度 3年生回答データより作成  
※対象者数 成蹊大学:14名 全国:26,799名  
※「増えた」は、「増えた」「大きくなれた」と回答した割合、「減った」は、「減った」「大きくなかった」と回答した割合です。

能力が増えたと感じている学生の比率が  
全国平均よりも49.0%高い

## 「グローバルな問題の理解」の変化

大学IRコンソーシアム  
学生調査回答者中

文学部  
国際文化学科



\*大学IRコンソーシアム学生調査(アンケート)  
2023年度 3年生回答データより作成  
※対象者数 成蹊大学:14名 全国:26,799名  
※「増えた」は、「増えた」「大きくなれた」と回答した割合、「減った」は、「減った」「大きくなかった」と回答した割合です。

# 少人数での刺激ある学びにより コミュニケーションの土台となる 「聴く力」が成長した



文学部 現代社会学科 4年生(2024年度取材時)  
私立麗澤高等学校出身

## 身についた力

- 積極性 ●聴く力
- 幅広い視野 ●考察力

## 成長を促した経験

- ゼミや授業でのレポート作成やグループワーク
- 幅広い学び ●卒業論文での考察



文学部  
現代社会学科

入学前のマイブド

社会を幅広く学べば  
将来の目標が見つかるはず

○。スポーツと  
社会の関わりにも興味

## 多様な社会問題や学問分野を学び、視野が広がった

1-2年次

幅広い分野の科目履修で  
視野を大きく広げる

幅広い視野

1年次のゼミ  
雑誌の付録について研究

○。発行部数が減っているのに  
豪華になるのはなぜだろう?

「労働社会学」「社会階層論」  
俯瞰した視点と労働者の視点で  
労働問題について考える

○。両方の視点が  
大事

「スポーツ社会学」  
社会でのスポーツの  
役割について理解を深める

○。スポーツ社会に  
適合するには  
戦略が大切

3-4年次

西兼志教授のゼミに所属し、  
卒業論文で、バスケットボールの  
日本における立ち位置を考察

考察力



○。好きなことを  
研究するって楽しい

○。どうすればバスケットボールの  
発展できかかるか...

アクティブラーニング形式の  
授業を積極的に履修する

○。積極的に  
学びたい

1-2年次

積極性

聴く力

ゼミや授業でグループワークを多く経験

最初は恥ずかしそう

○。どうしたら  
うまく議論  
できるか...

安心感から態度が積極的に

○。みんなが  
意見やすい  
雰囲気を  
つくろう

銀行から内定

○。しっかりニーズを汲みとて  
お客様に寄り添う提案を  
したい

## INTERVIEW

高校3年でバスケットボールの競技を引退した当時、すぐに将来の道を絞るのが難しいと感じていました。そこで興味を引かれたのが、多様な社会問題から心理学やメディア、実践的な調査の手法まで幅広く学べる現代社会学科のカリキュラムでした。実際に入学してみると、期待通りさまざまな領域に触れることができ、さらに分野と分野のつながりを知り、理解の深まりを実感できる場面も多くありました。また豊富なグループワークやディスカッションを通じて成長できる機会が多くあったと感じています。成蹊大学の授業では、学生同士と教員がお互いを受け入れ自由に発言できる雰囲気があり、その中で、不要な躊躇をせずに意見をはっきり伝える習慣が身についていきました。グループワークでは皆での試行錯誤を経て意見の違いを楽しめるようになり、チームで多面的に議論ができるようになったことも、学修での成長だと思っています。卒業論文では、私の大好きなバスケットボールを発展させる方法を考察。現状を調査し深く探究する経験を通じて考察力が磨かれたと感じています。お客様一人ひとりと向き合い、信頼関係を築いていける銀行員になることが卒業後の目標です。

インタビュー  
全文はこちら



## DATA RESEARCH

高い思考力をもつ学生の比率が  
全国平均よりも23.7%高い

### 「思考力(総合)」のS・Aランクの比率

\*アセスメントテストの結果により、該当する能力をS・A・B・C・Dにランク分けし、上位の優秀な学生(S・A)の比率\*

\*集計の結果、S・Aは全受検者の約20%

\*批判的思考力・創造的思考力・協働的思考力の各項目の総合結果を「思考力(総合)」としています。

「GPS-Academic」  
受検者中  
文学部  
現代社会学科



\* ヘネッセキキャラア調査2023年度「GPS-Academic」(アセスメントテスト)  
3年生受検データより作成  
※対象者数 成蹊大学:64名 全国:67,526名

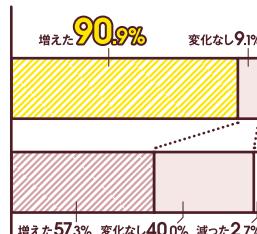
能力が増えたと感じている学生の比率が  
全国平均よりも33.6%高い

### 「国民が直面する問題を理解する能力」の変化

大学IRコンソーシアム  
学生調査回答者中

文学部  
現代社会学科

全国



\*大学IRコンソーシアム学生調査(アンケート)  
2023年度 3年生回答データより作成  
※対象者数 成蹊大学:11名 全国:26,796名  
\*「増えた」は、「大きくなった」、「大きくなった」と回答した割合。  
「減った」は、「減った」、「大きくなかった」と回答した割合。

# 因果関係を整理して主体的に考える力と さまざまな知見との出会いを 心踊る卒業研究に活かす

## 身についた力

- プログラミングの知識
- 主体的に考える力
- 物事の因果関係を整理する力

## 成長を促した経験

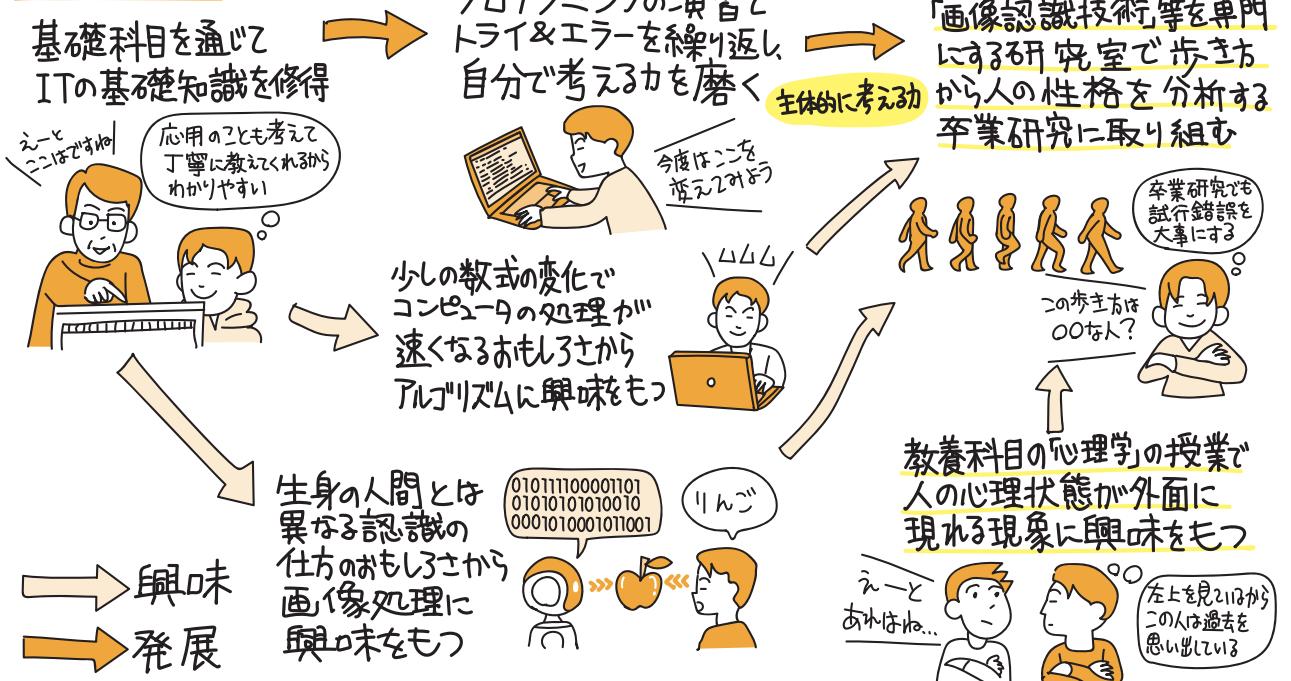
- 基礎科目での学修
- 卒業研究
- プログラミングの演習での試行錯誤

理工学部 情報科学科※  
学習型知覚データ処理研究室 4年生(2022年度取材時)  
私立東京電機大学高等学校出身



理工学部  
学習型知覚データ処理研究室

学びでのトライ&エラーが主体的に考える力を育ててくれる



## INTERVIEW

プログラムには、一文字のミスも許されない正確さが求められる一面があります。プログラミングの演習ではトライ&エラーを繰り返し、物事の因果関係を整理して考える力が鍛えられました。そこで特に興味を引かれたのは、アルゴリズムです。数式を少し変えるだけで、何倍もの速さでコンピュータが動く現象には、心が躍りました。また、コンピュータと人間でメカニズムに大きな差異がある、画像処理にも関心をもちました。両者では、映像から受け取る情報の認知や処理の仕方が違っていて、その比較におもしろさを感じています。3年次後期からは、村松大吾先生の研究室に所属し、卒業研究として歩き方からその人の性格を推定する研究に取り組んでいます。心理学の授業で、仕草や表情、視線から心の状態を推測できることを知り、視覚的な情報をコンピュータに解析させれば、より精度の高い分析結果が得られるのではないかと考えました。このテーマを発見できたのは、文系と理系が一緒に学ぶ成蹊大学ならではの環境があったからだと感じています。大学卒業後は、4年間で培ってきた主体的に考える力を活かしながら、試行錯誤するものづくりを社会人になんでも貢献したいと考えています。

インタビュー  
全文はごちら



## DATA RESEARCH

能力が増えたと感じている学生の比率が  
全国平均よりも32.2%高い

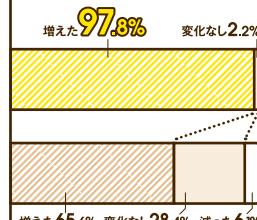
## 「専門分野や学科の知識」の変化

大学IPコンソーシアム  
学生調査回答者中

理工学部  
情報科学科

(学科名は2022年度改組前の旧名称となります)

全国



※大学IPコンソーシアム学生調査(アンケート)  
2022年度 3年生回答データより作成  
※対象者数 成蹊大学45名 全国28,494名  
※「増えた」は、「増えた」「大きくなかった」と回答した割合、「減った」は、「減った」「大きくなかった」と回答した割合。

行動経済学、教育心理学、人工知能など各学部の多様な分野の科目を受講可能

## 心理学副専攻科目数

21  
科目

心理学の基礎、自己理解の心理学、脳科学と心、こころの健康と臨床、大学生活と相互通り、ストレスマネジメント、カウンセリングの基礎、教育心理学、社会心理学入門、政治心理学、行動経済学、人間行動と組織、消費者行動、職場の心理学、人の資源管理、社会心理学、人間工学I、人間工学、人工知能、教育相談、生徒指導論



※成蹊大学 専修要項「副専攻対象科目及び必要単位数一覧」より  
※2023年度現在

# 苦手を克服し身につけた論理的思考力と チームで協働する力が 活躍への扉を開く原動力に



理工学部 情報科学科※  
知的インターフェース研究室 4年生(2022年度取材時)  
横浜市立桜丘高等学校出身

## 身についた力

- チームで協働する力
- 論理的思考力
- 自ら試行錯誤する姿勢

## 成長を促した経験

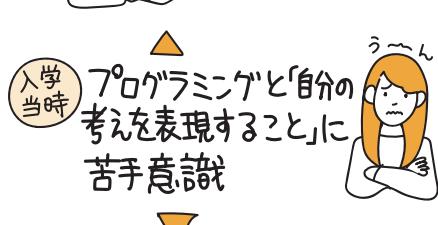
- プログラミングの授業
- 卒業研究
- 産学連携人材育成プログラム



理工学部  
知的インターフェース研究室

「プログラミングの授業では…」

エラーが出ても  
対処の仕方が  
わからず…



入学時  
「プログラミング」と「自分の  
考えを表現すること」に  
苦手意識



なるほど  
100の視点で  
考え方をしよう

先生や同級生に  
積極的に  
質問するように



慣れないオンライン会議に  
戸惑いながらもチームで  
一緒に課題を進める



学部横断型  
ビジネス研修に参加し  
多様なものの捉え方に  
触れる

プログラムと出力の因果関係が  
理解できるように



苦手と向き合ったから  
こそ成長ひきた!



オンラインでの意思疎通のしやすさに  
注目し、卒業研究で会議を動画や  
文章で的確に要約する方法を追究



コミュニケーションについて  
より高い意識を持つようになっ

## INTERVIEW

AIやロボティクスなどに興味があり情報科学科を選んだものの、入学当初はプログラミングが苦手でした。そこで起こしたアクションは、どんどん人に聞くこと。授業では、先生からヒントをいただき、友人と一緒に課題に取り組むなど、一人で悩まず学習でき、プログラミングへの苦手意識は薄れていきました。プログラムと出力との因果関係を理解する中で、論理的に考える力を大いに磨くことができました。3年次には、「丸の内ビジネス研修(MBT)」に参加。学部学科が異なるメンバーから、さまざまな刺激を受けたことで、コミュニケーション能力を磨きたい気持ちが高まりました。現在は卒業研究で、議論の内容や雰囲気を文章や動画の要約を用いて的確に伝える方法を研究しています。この研究を通じて、「議論」に何なく感じている印象を論理的に解明できればと思っています。4年間振り返ると、アウトプットする機会が充実していました。意見を加え発信すること前提に考えてインプットする習慣が身につき、「コミュニケーション」や「協働」に高い意識をもてるようになったのは、人との関わりを通じて多くの良質な刺激があったからこそだと考えています。

インタビュー  
全文はこちら



## DATA RESEARCH

教員に質問や相談をすると回答した学生の比率が  
全国平均よりも14.8%高い

## 学びへの取り組み

「授業の内容でわからないことは

教員に質問や相談に行く」の肯定回答率

「GPS-Academic」受検者中  
理工学部  
情報科学科  
(学科名は2022年度改組前の旧名称  
となります)

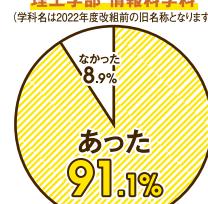


※ペネッセキヤリア「GPS-Academic」(アクセスメントテスト)  
2022年度 第2回受検者、タブレット作成  
※対象者数 成蹊大学110名 全国63,957名  
※「①非常にあてはまる」②やあてはまる ③あまりあ  
てはまらない」④まったくあてはまらない」のうち「①非常  
にあてはまる」「②やあてはまる」と回答した割合。

機会があったと回答した学生の割合が、  
全国平均よりも16.2%高い

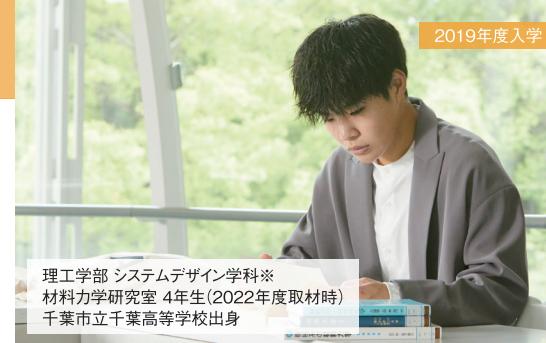
「仕事に役立つ知識やスキルを学ぶ」経験

大学IRコンソーシアム学生調査回答者中  
理工学部 情報科学科  
(学科名は2022年度改組前の旧名称となります)



※大学IRコンソーシアム学生調査(アンケート)  
2022年度 3年生回答データより作成  
※対象者数 成蹊大学45名 全国28,613名  
※「あつた」は「ひんぱんにあつた」「ときどきあつ  
た」と回答した割合。「なかつた」は「まったくな  
かった」「あまりなかった」と回答した割合です。

# 考え方抜く実践的な学びと 個性の交わる協働により チームで創造する力を磨いた



## 身についた力

- 答えのない問い合わせ考え方抜く力
- チームで協働する力
- 柔軟な発想力

成長を  
促した経験

- グループでのづくりに取り組む実習
- 産学連携人材育成プログラム
- 卒業研究

理工学部  
材料力学研究室

## 入学前の学びの志向

チームでのものづくりに  
取り組みたい

他学部の学生とビジネスプランを  
立案する内のビジネス研修

みんなで実現の可能性を検討しよう!



## 成蹊大学での実践的な学び

グループでのものづくりに  
取り組む実習

既製品にネジを  
加えてより便利に!



部品をバラバラにした  
ペンを早く組み立てる  
方法を考察

卒業研究でペストの材料  
特性について解析・研究

最適な押出力  
速さなどのくらいか...



答えのない問い合わせを  
考え方抜く力

チームで  
協働する力



## INTERVIEW

成蹊大学の4年間では、「チームで協働する力」や「答えのない問い合わせ考え方抜く力」が磨かれました。前者が伸びたのは、異なる学部学科の学生とグループワークを行う学部横断型のビジネス研修がきっかけです。現実的な数字を見て慎重に案を出していた私に対し、斬新なアイデアを積極的に出すメンバーがいるなど、自由な発想が起点になって突き抜けた企画が生まれる可能性を実感しました。専門分野が異なるメンバーと一緒に課題を取り組んだ経験は、協働して問題を解決する力の成長につながったと感じます。また、ものづくりをしたくて大学に入った私は、やはり正解のないものを一から考える実習に心を引かれました。意見を出し合ながら設計と検証を繰り返すプロセスは、とてもおもしろかったです。「答えのない問い合わせの探究」は、卒業研究でも経験しています。予想外の実験結果が出ることも多いですが、試行錯誤によって得た経験則を実験の効率化に活かせるようになったと感じています。なお、大学卒業後はシステムエンジニアとして働く予定です。最適解を求めて考え方抜く力や、考え方の異なる人と協働する力を活かし、ベストなソリューションを提供したいと思っています。

インタビュー  
全文はこちら

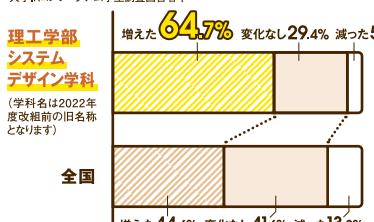


## ▶ DATA RESEARCH

能力が増えたと感じている学生の比率が  
全国平均よりも20.1%高い

## 「他の人と協力して物事を遂行する能力」の変化

大学IRコンソーシアム学生調査回答者中



※大学IRコンソーシアム学生調査(アンケート)  
2022年度 3年生回答データより作成  
※対象者数 成蹊大学:17名 全国:28,494名  
※「増えた」は、「増えた」「大きくなかった」と回答した割合、「減った」は、「減った」「大きくなかった」と回答した割合です。

非常に優秀(S)・優秀(A)の評価を  
獲得した学生の割合が31.9%

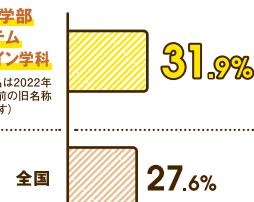
## 「協働的思考力」のS・Aランクの比率

\*アセスメントテストの結果により、該当する能力をS・A・B・C・Dにランク分けし、上位の優秀な学生(S・A)の比率\*

\*集計の結果、S-Aは全受検者の約20%

[GPS-Academic]受検者中

理工学部  
システム  
デザイン学科  
(学科名は2022年度改組前の旧名称  
となります)



※ベネッセキャリア「GPS-Academic」(アセスメントテスト)  
2022年度 3年生受検データより作成  
※対象者数 成蹊大学:72名 全国:63,957名

# 実験での論理的な思考が 課題を発見し目標を見出す 原動力になった



理工学部 物質生命理工学科  
物質計測・イメージング研究室(データ駆動計測研究室)  
4年生(2022年度取材時)  
東京都立東大和南高等学校出身

## 身についた力

- 多面的なものの見方
- 論理的思考力
- ITの専門知識

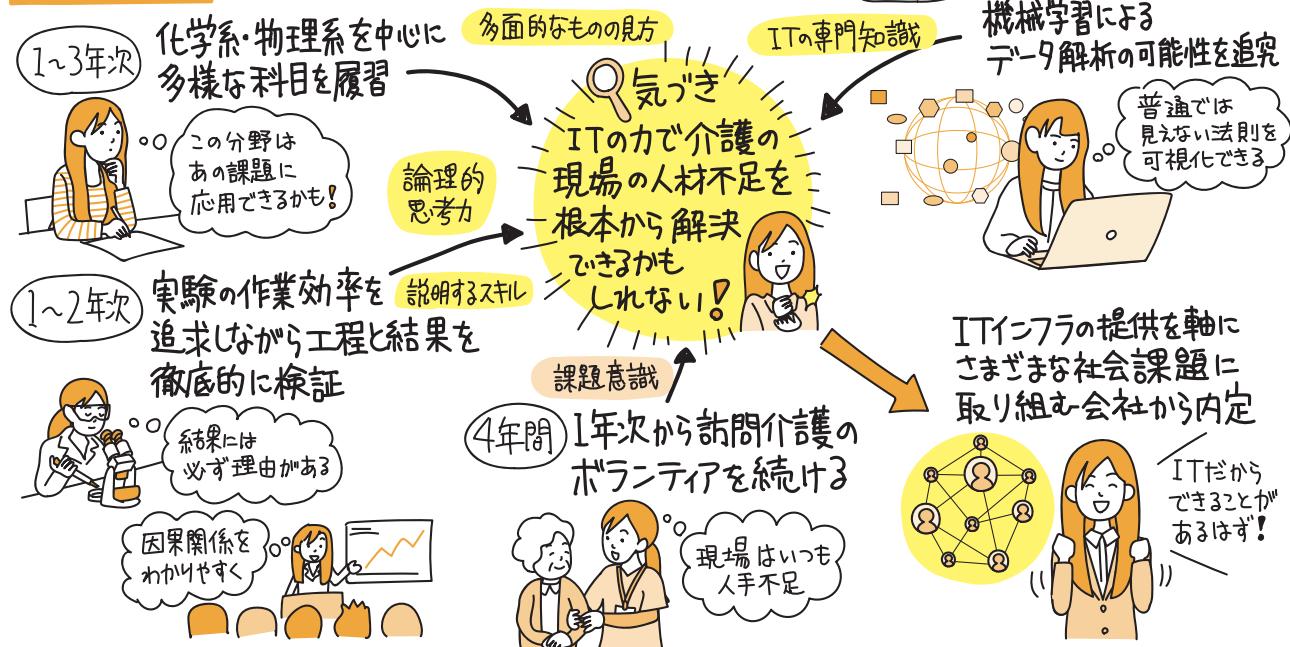
## 成長を促した経験

- 化学系・物理系中心の幅広い授業
- データ解析の研究
- 訪問介護ボランティア



論理的に考える力がキャリアの指針になった!

理工学部  
物質計測・イメージング研究室  
(データ駆動計測研究室)



## INTERVIEW

成蹊大学の理工学部を選んだのは、分野横断的なカリキュラムが魅力的だったからです。物理系の授業で学んだ考え方や化学系の授業で活きたり、授業で学んだ現象が実生活と結びついたりなど、興味が広がる体験が1・2年次から何度もありました。3年次後期からは、ビッグデータを追究する研究室に所属。さまざまな種類が存在するビッグデータには、自然科学に関するデータも含まれます。それらを扱う際に、内容自体を理解できるのは、物理や化学を専門的に学んだからこそ強みです。また、実験で身につけた論理的思考力や説明するスキル、多面的なものの見方は、社会でも役立つ力だと思います。例えば、訪問介護の現場では、常に人手不足が課題になっているのですが、それは単に人員を補充すれば済む問題ではなく、問題の本質を見つめる必要があります。就職先として選んだのは、ITを駆使してさまざまな問題解決に取り組む企業。最も関心があるのは「人材不足」の問題で、研究で培ったITの専門知識を活かすには、ITの知見がある会社で外から問題解決を支える立場の方が、より力を活かせると考えました。問題の根源を見極める目を持ち、有用な解決方法を提案ていきたいです。

インタビュー  
全文はこちら



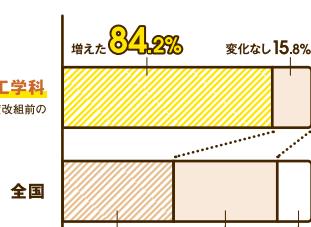
## DATA RESEARCH

能力が増えたと感じている学生の比率が  
全国平均よりも39.6%高い

### 「数理的な能力」の変化

大学IRコンソーシアム  
学生調査回答者中

**理工学部  
物質生命理工学科**  
(学科名は2022年度改組前の  
旧名称となります)



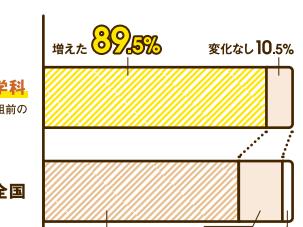
※大学IRコンソーシアム学生調査(アンケート)  
2022年度 3年生回答データより作成  
※対象者数 成蹊大学19名 全国28,494名  
※「増えた」は、「増えた」「大きくなかった」と回答した割合です。  
※「減った」は、「減った」「大きくなかった」と回答した割合です。

能力が増えたと感じている学生の比率が  
全国平均よりも11.1%高い

### 「分析力や問題解決能力」の変化

大学IRコンソーシアム  
学生調査回答者中

**理工学部  
物質生命理工学科**  
(学科名は2022年度改組前の  
旧名称となります)



※大学IRコンソーシアム学生調査(アンケート)  
2022年度 3年生回答データより作成  
※対象者数 成蹊大学19名 全国28,494名  
※「増えた」は、「増えた」「大きくなかった」と回答した割合です。  
※「減った」は、「減った」「大きくなかった」と回答した割合です。

# 好奇心を追求しながら、研究者としての素養を育める環境があった



## 身についた力

- 論理的に説明する力
- 根気強く取り組む力
- 専門分野の知識

## 成長を促した経験

- 失敗の原因と向き合った実験の経験
- 工夫しながら説明した経験
- 幅広い科目履修



研究者に求められる2つの力が磨かれた!

## 入学前のマインド



## 最初は研究内容を人に伝えるのに苦戦



## 徐々に話を体系立てて説明できるように



## 1.2年次に生物・化学・物理にまたがる幅広い科目を履修



## 先輩や先生とコミュニケーションを取りながら自分の研究に主体的に取り組む

論理的に説明する力  
根気強く取り組む力

## INTERVIEW

入学当時は、物理、化学、生物への関心度合いは同じくらいだったのですが、戸谷希一郎先生の有機化学と生命科学を融合した研究と出会い、生命的現象を有機化学の視点で解明するおもしろさを知りました。研究室に所属した当初は、研究の内容をきちんと説明しようと思っても、初見の相手に説明すべきことが欠けてしまい、前提の部分から質問をされてしまうことが多くありました。そこで心掛けたのは、前提や根拠をしっかり示すこと。工夫の甲斐もあり「論理的に説明する力」の成長を徐々に実感できました。失敗から目を逸らさず原因と向き合いながら実験に取り組んだことで、「根気強く取り組む力」も身についたと感じています。現在は、抗がん剤の効き方を可視化する方法を研究しています。もし薬の効き方を投与してすぐに確認できれば、抗がん剤が患者さんに合うかを早期に判断でき、安全かつ効果的な治療法の検討に役立てられます。卒業後は、成蹊大学の大学院で同じ研究を継続する予定です。大学院では、専門性のレベルはもちろん、責任もいっそう求められるようになります。研究の成果を追究するだけでなく、研究者としての主体性もさらに磨いていかなければと考えています。

インタビュー全文は[こちら](#)



## ▶ DATA RESEARCH

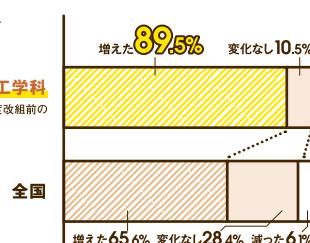
能力が増えたと感じている学生の比率が全国平均よりも23.9%高い

機会があったと回答した学生の割合が全国平均よりも15.9%高い

## 「専門分野や学科の知識」の変化

大学IRコンソーシアム  
学生調査回答者中

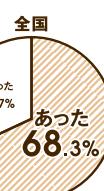
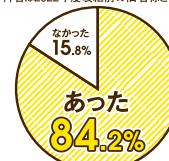
**理工学部  
物質生命理工学科**  
(学科名は2022年度改組前の旧名称となります)



## 「実験、実習、フィールドワークなどを実施し、学生が体験的に学ぶ」経験

大学IRコンソーシアム学生調査回答者中

**理工学部 物質生命理工学科**  
(学科名は2022年度改組前の旧名称となります)



# 高度な専門性の土台となる能力を充実した学びの中で着実に修得

## 2年生インタビュー



左から理工学部 応用化学専攻・機械システム専攻・電気電子専攻・データ数理専攻・コンピュータ科学専攻2年生  
(2023年度取材)

### 身についた力

- わかりやすく伝える力
- ICTの知識
- 研究の土台となる論理的思考力

### 成長を促した経験

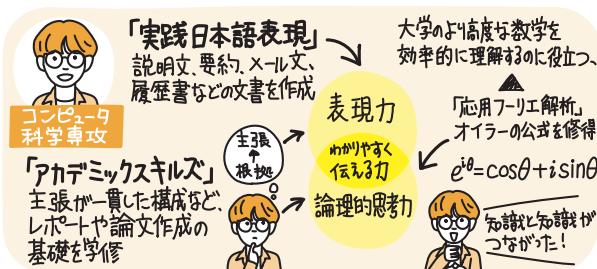
- 社会人基礎力科目
- ICT基礎科目
- 理工学基礎科目

### 「新しい理系」を養成する

## 理工学部での成長実感



2022年に生まれ変わった理工学部では、ICT活用力と専門性を駆使して、社会課題へ果敢に取り組む「新しい理系」を養成する土台となる「3つの力」を育てるカリキュラムで学ぶ2年生の成長実感をレポートします。



### INTRODUCTION

成蹊大学の理工学部では、研究や社会で求められる素養を着実に磨く授業が1・2年次から充実しています。論文作成などの基礎を修得する「アカデミックスキルズ」では、主張が一貫した文章構成や、見やすくメリハリのある資料のまとめ方などを学ぶ中で、多くの学生がわかりやすく伝える力の成長を実感しています。専門科目の土台となる数学や物理、化学などの理工学基礎科目では、研究で必須となる「根拠と主張のつながりを明確にする姿勢」を育むなかで、専門知識に加えて、論理的思考力や粘り強く取り組む力なども着実に身についています。またICTの基礎知識を養う授業も充実。プログラミングの授業では、はじめて取り組む学生でもステップアップできるようになっているほか、本格的なプログラムの作成に挑戦する実習や、グループで課題に取り組むアクティブラーニングなど、発展的な内容も用意されています。専門性の修得に必要な基礎力を総合的に身につけ、3年次以降に取り組む高度な専門研究につなげます。「社会人基礎力」「ICT基礎力」「理工学基礎力」の3つを重視したカリキュラムにより、学生たちは、日々の成長に確かな手応えを感じています。

インタビュー全文は[こちら](#)

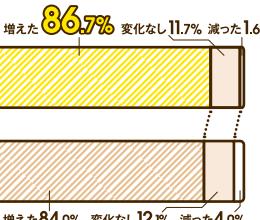


### DATA RESEARCH

86.7%の学生が「能力が増えた」と感じている

#### 「専門分野や学科の知識」の変化

大学IRコンソーシアム  
学生調査回答者中  
理工学部  
理工学科  
※5専攻合算

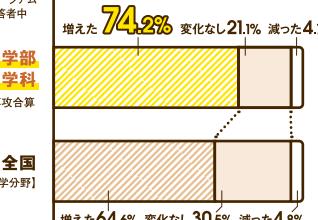


\*大学IRコンソーシアム学生調査(アンケート)  
2022年度 1年生回答データより作成  
※対象者数 成蹊大学128名 全国[工学分野]12,157名  
「増えた」は、「増えた」「大きくなれた」と回答した割合、「減った」は、「減った」「大きくなった」と回答した割合です。

能力が増えたと感じている学生の比率が全国平均よりも9.6%高い

#### 「分析力や問題解決能力」の変化

大学IRコンソーシアム  
学生調査回答者中  
理工学部  
理工学科  
※5専攻合算



\*大学IRコンソーシアム学生調査(アンケート)  
2022年度 1年生回答データより作成  
※対象者数 成蹊大学128名 全国[工学分野]12,157名  
「増えた」は、「増えた」「大きくなれた」と回答した割合、「減った」は、「減った」「大きくなれた」と回答した割合です。

# 学問を横断し融合する学びが 価値観やものの見方の多様性を理解し、 多面的に考える力につながった



## 身についた力

- 多面的に考察する力
- 多様性への理解
- 情報を批判的に見る力

## 成長を促した経験

- 副専攻での幅広い学び
- ゼミでの研究
- 他学部の学生の考えに触れる経験



副専攻の学び

副専攻とは  
学生各自の興味関心に合わせて学部の学びに+αでできる！

## 入学時のマインド

教養を広げ  
人間のことを深く知りたい。  
政治を学ぶことが人間理解につながる。

法学部  
政治学科に入学

## 学部×副専攻の学びで、多面的に考察する力を修得！

3~4年次

平石ゼミで  
「孤独を克服し自己意識をもって生きるためにどうすればいいか」を卒業論文で追究

1~3年次

経営学や心理学などの幅広い分野の授業を履修し2つの副専攻を修了

経営学副専攻

経営学の授業では...  
学部を超えて多様な学生の考えに触れる

この労働問題の場合会社としては  
このように対応すべきでは？

経営学部

法学部

でも、働く人の立場では  
こんな問題があるのではないか？資本主義や政治と  
孤独にはどんな関わりか？！

→ 目にする情報をさまざまな  
視点から考えられるように

この報道には  
スポーツへの  
配慮が書いて  
いるかも同じ商品が  
たくさん表示されるのは  
アレゴリズムが使われているかも

→ 就活で「視野が広く自分の考えを  
しきりもっている」と評価される

私は、人と人が  
つながり助け合う  
仕組みづくりが  
大事だと考えて  
います

生命保険を扱う  
保険会社から内定  
孤立する人をつくらない  
社会を実現したい

## INTERVIEW

成蹊大学には、学科の専門分野以外も学べる副専攻制度があり、私は政治学科に所属しつつ経営学と心理学の副専攻を修了しました。心理学の観点から人間の政治行動を考える、経営学の視点で社会の仕組みを学ぶなど、学問を横断して学んだ経験には、視野を広げる上で大きな意義を感じました。また副専攻の授業では、他学部の学生とともに学ぶ機会があり、多様な考え方に対する感動や、刺激となりました。現在、平石耕先生のゼミでは、孤独と自己意識の問題に関する卒業研究に取り組んでいます。その過程では、心理学や経営学の視点も役立ちました。心理学の授業で学んだ、孤独の実感が心身の不調に発展していく事例などは、研究の根幹である「孤独」について深く理解するために欠かせない知識でした。また、思想・社会から会社などの職場、個人の自己意識までのつながりを明らかにする上で、政治学と経営学を融合したアプローチも有用でした。卒業後は、生命保険を扱う保険会社で働くことが決まっています。複数の学問分野を横断して学んだことで得たものを多面的に見る姿勢をこれからも大切にしながら、お客様一人ひとりと向き合い、励んでいくつもりです。

インタビュー  
全文はこちラ



## DATA RESEARCH

興味関心やニーズに合わせて  
多様な授業を選択できる

## 副専攻の対象科目数

18種の副専攻  
対象は502科目



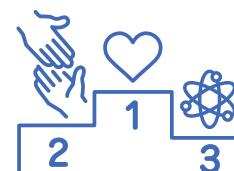
副専攻制度は  
全学部学科の学生が対象

※成蹊大学 留修要項「副専攻対象科目及び必要単位数一覧」より  
※2023年度現在

様々な学問とも関わりの深い  
心理学副専攻が一番人気

## 副専攻人気ベスト5

1位 心理学副専攻	159名
2位 社会福祉副専攻	34名
3位 データサイエンス副専攻	26名
4位 言語文化副専攻(スペイン語)	16名
5位 言語文化副専攻(中国語)	13名



※成蹊大学調べ  
※2023年度現在

# グループでの協働で身につけた 多様性を尊重する姿勢が 夢の実現につながった



## 身についた力

- 積極的に関わる力
- やり遂げる力
- 異なる意見を調整する力

## 成長を促した経験

- 多様なメンバーとのグループワーク
- 困難を乗り越えた経験
- 企業に向けた最終発表



さまざまな意見によって、提案内容が洗練されていくプロセスを経験!  
(アイデア)

3年次前期に予定していた  
オーストラリアへの留学が  
コロナのために渡航中止に  
SHOCK



新しい目標を見つけると  
丸の内ビジネス研修に参加  
(MBT)



有名企業が実際に抱える  
課題でグループワークに挑戦  
積極的なコミュニケーションを心がける



MBTの一環として  
グローバルに事業を展開する  
商社のオンラインインターンシップ  
に参加



職業理解

メンバーご意見が  
分かれたときは  
調整役を買って出る

調整力

もう一度整理しよう

最終発表で企業の方から  
高評価をいただく  
やったね!

やったね!

発表前日に  
みんなで大幅修正を  
したことでも

やり遂げる力

自信

中間発表から  
進歩しました。

憧れの商社から  
内定をいただく

やったね!

これからも  
向上心をもつて  
大切にしよう!

## INTERVIEW

留学がコロナ禍のために中止となり、失意のうちにあった私は、「何かを成し遂げたい」と思い、産学連携人材育成プログラム「丸の内ビジネス研修(以下MBT)」に参加。最も強く感じている成果は、積極的な姿勢が身についたことです。そのきっかけになったのが、メンバーとの協働を通じた多様性への気づきでした。皆で議論を進めていると、驚くほどいろいろな意見が出てきました。その状況に直面する中で、一つの意見だけが正解でないことを実感。いろいろな意見によって提案内容が洗練されていくプロセスを経験し、そこから積極的な発言を心がけるようになりました。また、MBTの一環として、グローバルに事業を展開する商社のオンラインインターンシップにも参加しました。それまで、商社に対して漠然とした憧れを抱いていたのですが、現地と自社の双方のメリットを考える視点などを知ることで、具体的な志望業種となり、幸いにもある商社から内定をいただきました。MBTでメンバーと協働しながら課題をやり遂げ、その経験を踏まえ自信をもってアピールできたことが、評価を得られた一番の要因だと考えています。これからも向上心をもち続け成長していかなければと思っています。

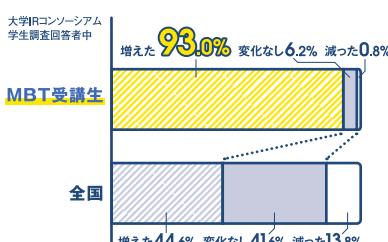
インタビュー全文はこちら



## DATA RESEARCH

能力が増えたと感じている学生の比率が  
全国平均よりも48.4%高い

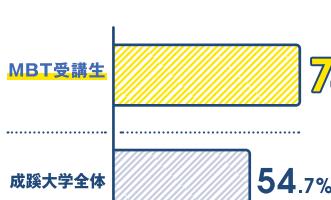
「他の人と協力して物事を遂行する能力」の変化



\*大学IRコンソーシアム学生調査(アンケート)  
2013~2022年度合算 3年生回答データより作成  
※対象者数 成蹊大学:129名 全国:28,494名  
※「増えた」は、「増えた」「大きく増えた」と回答した割合、「減った」は、「減った」「大きく減った」と回答した割合です。

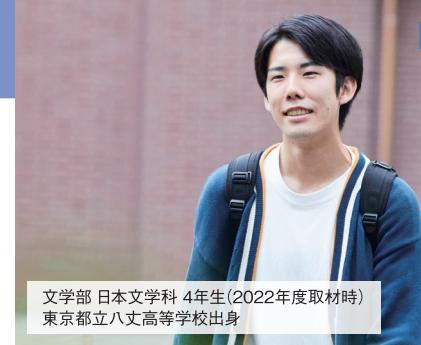
MBT受講生の多くは  
早期に内定を獲得している

早期内定率 内定時期が各年度の6月以前



\*成蹊大学調べ  
※2017~2022年度の合算データ

# 教職課程での実践的な学びと 言語学との出会いをきっかけに 理想の教師像を見出した



## 身についた力

- 子どもたちに考えさせる問いを立てる力
- 感情にアンテナを立てる力 ●発想力

成長を  
促した経験

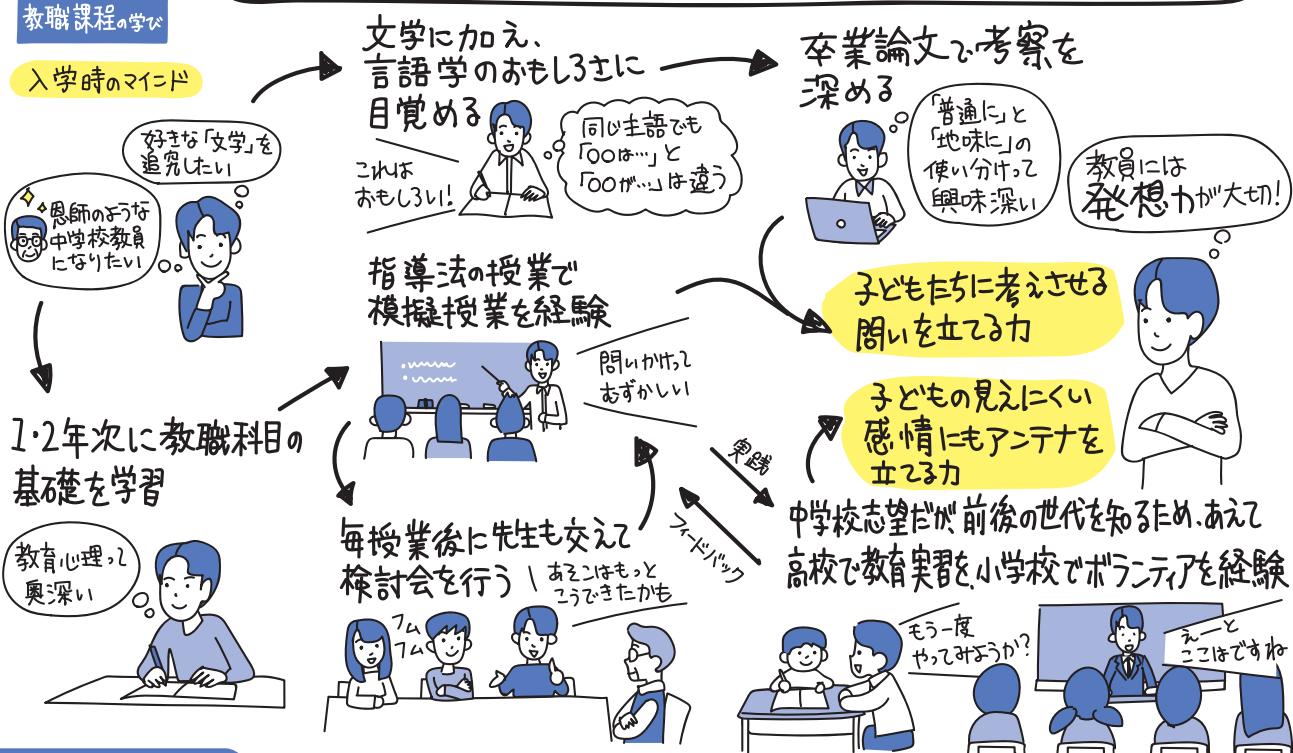
- 教職科目での基礎学習 ●模擬授業
- 教育実習やボランティアでの実践経験



教職課程の学び

入学時のマイノード

実践により教育者に必要な発想力が身についた!



## INTERVIEW

中学時代の恩師に憧れ、国語の教員をめざして成蹊大学に入学しました。教職課程では、教育心理や一般教養などの基礎を学んだうえで、模擬授業などの教育方法に関する学びに取り組みました。教える役割を経験して感じたのが、「問い合わせ」の難しさ。**国語の授業では、教科書を見ればわかる質問だけしていくは、生徒の考える力を伸ばせません。**教員がいかに工夫し、気づきのきっかけを提供できるかがカギとなります。そうした目に見えない部分に着目する視点をもてたのは、教職課程で学んだ成果です。また模擬授業の後で、毎回のように指導方法の検討会を実施。皆で助言し合い、自分を客観視できたことも成長の力になりました。卒業後の勤務先は中学校を希望しています。教員になれば、中学校にはずっと関わるため、あえて教育実習は高校を、教育ボランティアは小学校を選択。小学生の成長過程への理解を中学校での教育に活かし、どのような生徒を送り出すことが高校での成長につながるかを考える貴重な経験ができました。**4年間で培った「考えさせる問いかけをする力」や「見えにくい感情を感じ取る力」を活かし、自ら人生を歩もうとする子どもの支えになることが目標です。**

インタビュー  
全文は[こちら](#)



## DATA RESEARCH

## 都道府県等が行う教員採用試験の 合格者を継続して輩出

## 教員採用者数

5か年累計  
**77名**

[ 2018 12名 2019 17名 2020 11名 2021 22名 2022 15名 ]



主な就職先(教職)  
東京・埼玉・神奈川・千葉・  
その他都道府県  
公立学校／私立学校(中学・高等学校)

※成蹊大学調べ

## 中学校教諭・高等学校教諭一種免許状の 取得が可能

## 教職課程履修者数

2023年度  
履修者総数  
**259名**



※成蹊大学調べ

# 多様性が「前提」として存在する 留学先でのハイレベルな環境が キャリアの可能性を広げてくれた



## 身についた力

- 論理的思考力
- 英語運用能力
- 価値観の違いを受容する力

## 成長を促した経験

- 毎週の数百ページに及ぶ文献調査と発表
- 多様性のある環境での学生たちとの交流



## 入学前のマインド

英語教員になりたいけど、幅広く学んで自分の将来を見極めたい



1-3年次 文学部 英語英米文学科に入学 渡航

ジェンダーや人種の問題に興味を持ち「文化とコンテキスト」をメイン・フォーカス(専門領域)として理解を深める



3年次9月-4年次6月

協定留学を利用し、イギリスのエディンバラ大学に留学



毎週数百ページの文献を読む準備する授業に必死についていく



論理的思考力



英語運用能力

寮で生活し、世界中の地域および30ヶ国の学生と友人になる



みんなの価値観や習慣が異なるのは当たり前

価値観の違いを受容する力

就職活動にじっくり取り組むとともに、教員免許状の取得をめざし、学修を1年延長する



留学を経て、世界を舞台に活躍したいという思いが強くなり、進路を民間企業に絞る

グローバルに事業を展開する外資系コンサルティング会社から内定が出る



## INTERVIEW

もともと英語の教員志望だったのですが、選択肢を最初から絞ってよいのか悩んでいました。そのため、実践的な英語力の向上に加えて、視野を広げられる環境があることを重視し、多様な分野に触れる英語英米文学科に入学。3つのフォーカスのうち「文化とコンテキスト」を専門領域として選択し、ジェンダーなどの問題について議論する中で、情報を客観的・中立的に見る力が磨かれました。3年次9月から9か月間、イギリスのエディンバラ大学に留学。最初は高い学修レベルに苦戦しましたが、自分の考えを繰り返し言葉にしたことで論理的に考える力が鍛えられ、英語での読み書きや意見の発表、ディスカッションなどを通じ、英語運用能力の底上げができました。また出身地域、人種ともさまざまな学生と積極的にコミュニケーションを取った結果、留学の間に30ヶ国に及ぶ外国人の友人ができました。多様性のある環境に身を置くことで、皆が異なるのは当たり前という感覚を養えたのは、留学における成果の一つです。4月から働く外資系コンサルティング会社では、多国籍のチームで協働しながらITを活用した世界基準のサービスを届け、お客様の問題解決に貢献したいと考えています。

インタビュー全文は[こちら](#)

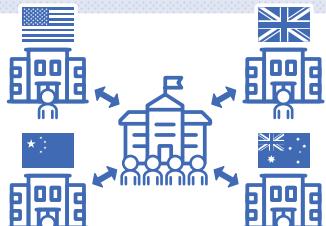


## DATA RESEARCH

目的に合わせて選べる留学スタイル、期間(短期・中期・長期)も多様

## 成蹊大学の海外協定校数

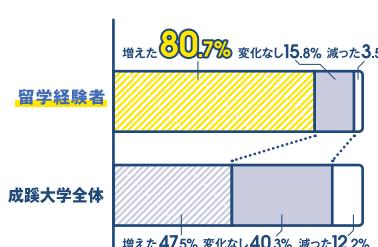
**20** 地域**44** 校  
JSAFプログラム協定校  
**約130** 校



\*成蹊学園国際教育センターHP 協定校一覧より※2024年度現在

能力が増えたと感じている学生の比率が大学全体よりも33.2%高い

## 「外国語の運用能力」の変化



\*成蹊大学学生調査(4年生満足度調査)  
回答データより作成  
※2022-2023年度回答者の合算データ  
\*「増えた」は、「増えた」「大きくなれた」と回答した割合。  
「減った」は、「減った」「大きくならなかった」と回答した割合。

# 積極的な交流と 多様な文化に触れる学びが 躍進の原動力に



## 身についた力

- 積極性
- 日本語での文章力
- 幅広い視野
- 日本語でのコミュニケーション能力

成長を  
促した経験

- 少人数のゼミでのレポートやディスカッション
- 世界のさまざまな地域に関する学修

多様な地域に触れる密度の高い学び&少人数の環境で大きく成長

成蹊大学の正規課程で  
学ぶ外国人留学生

土で元で開かれた  
日本の大学の合同説明会で  
成蹊大学の少人数教育に  
興味をもつ



入学

3年次～  
川村陶子教授のゼミで  
文化交流と国際関係の  
研究に取り組む



2年次～  
渡航しキャンパスで  
対面授業を受けられるように  
仲間や先生に会えうるしい



1年次  
コロナ禍で渡航できず、  
オンラインで授業を受ける



少人数のゼミでレポートや  
ディスカッションを多く経験



積極性

日本語での  
コミュニケーション  
能力

日本語での  
文章力

歴史・文化研究科目を中心に  
世界のさまざまな地域について学修



## INTERVIEW

日本の文化や歴史に興味を持っていた私が成蹊大学への入学を決めたのは、少人数のゼミがあり先生との距離が近い環境を魅力に感じたからです。1年次はコロナ禍の真っ只中でなかなか渡航できませんでしたが、日本人の先輩がサポートしてくれて心強かったです。2年生になって日本のキャンパスで仲間や先生と一緒に空間で学べるようになったのは、本当にうれしかったです。また、少人数の環境も期待通りでした。授業で不明な点があれば、その場で質問して疑問を解消でき、ゼミでは先生が提示したテーマに対し、学生同士で意見を交わすなど、ディスカッションの機会がたくさんありました。自分の意見を相手に伝える体験を重ねたことで、私生活でも自分の考えを表に出せるようになり、もの静かだった性格が活発で積極的なものへと変わりました。こうした成長ができたのも、ゼミにお互いを受け入れ尊重する空気があり、安心して発言できたことが大きかったと感じています。またレポートを作成する機会も多く、わかりやすく日本語の文章でまとめる力が磨かれました。卒業後は日本国内の外資系ホテルで、お客様の状況や心境に寄り添うようなコミュニケーションを実践したいと思っています。

インタビュー  
全文はこちら



## DATA RESEARCH

## 17の国・地域の外国籍学生がワンキャンパスで 共に学び交流できる環境

## 外国人留学生・外国籍学生数

123名



\*成蹊大学調べ(2024年5月時点)  
※123名の内訳は、私費留学生35名、協定留学生43名、外国籍の学生(留学生除く)45名  
※17の国・地域の内訳は、アメリカ、ブラジル、ペルー、イギリス、ドイツ、フランス、イタリア、ノルウェー、アイスランド、ルーマニア、中国、台湾、韓国、マレーシア、フィリピン、ベトナム、オーストラリア

## 日本人学生との共同生活を通じて、 日常的に国際交流ができる

## 専用国際寮・国際交流会館の留学生入居者数

## 専用国際寮

19名 日本人学生26名

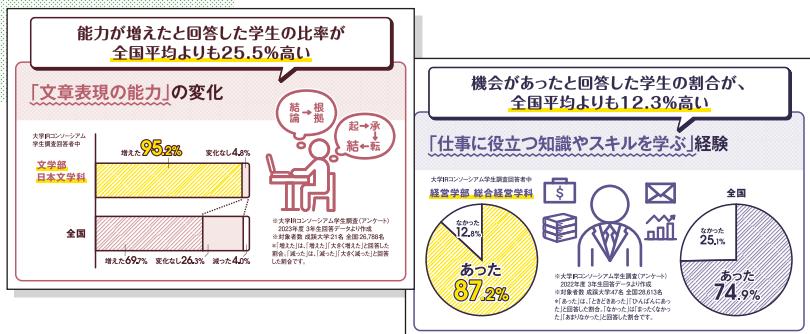
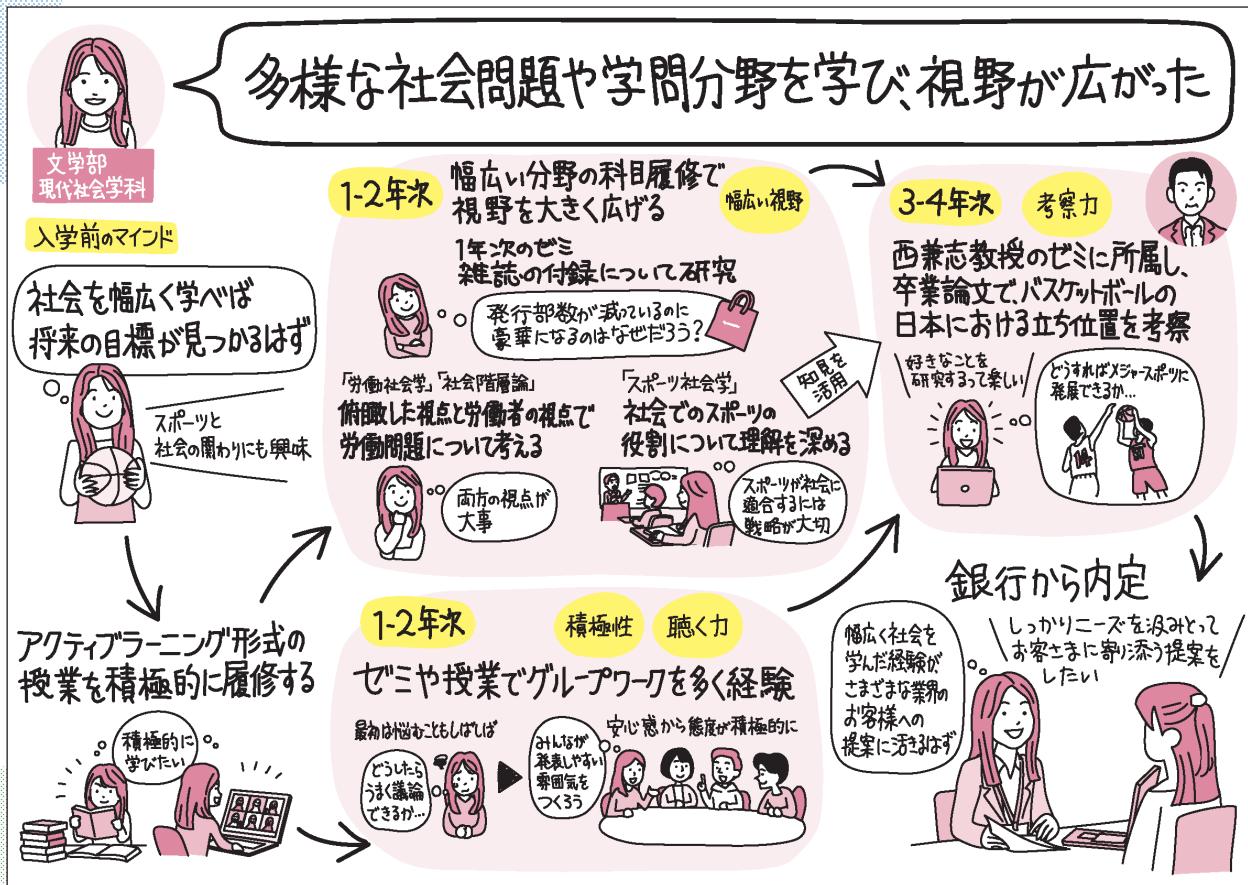
## 国際交流会館

11名 日本人学生4名



\*成蹊大学調べ(2024年5月時点)  
※国際交流会館の日本人学生は、留学生の生活をサポートするレンティント・アシスタントとして入居

# 成蹊大生の成長をイラストで可視化!



## 成長する 成蹊大生の図鑑 ウェブサイト

成長する成蹊大生の図鑑ウェブサイトでは、誌面で紹介した学生たちのより詳しいインタビューを通じて、学生たちがどのように学び、日々を過ごし成長したのかをより詳しく紹介しています。また、成長を客観的に可視化したデータもより多く掲載しています。

